

子、瓢味甘可食、其子形扁如瓜子、亦有痲癩、南人以青皮煮肉及鹽醬充蔬、苦澀有青氣、

〔重修本草綱目啓蒙〕二十 苦瓜

ツル。レ。イ。シ。レ。イ。シ。ニ。ガ。ウ。リ。防。州。ポ。ウ。リ。カ。ヅ。ラ。長。崎。ニ。ガ。ゴ。ヲ。リ。筑。後。ト。ウ。ゴ。ヲ。リ。島。原。〇

春種ヲ下ス、藤葉諸瓜ヨリ小ナリ、葉大サ三寸許、五七岐ニシテ鋸齒アリ、淺綠色、每葉一鬚、葉間ニ

花ヲ生ズ、大サ六七分、五瓣ニシテ黄色、莖ハ細シテ絲ノ如シ、アダバナ 花多シ、蒂下ニ小塊アル者ハ、花謝

シテ瓜ヲ結ビ下垂ス、皮ニ疙瘩多シ、長サ三寸、徑リ二寸許、初ハ綠色、瓜ノ末ヨリ漸ク黄色ニ變ジ、

自ラ裂テ紅肉ヲ見ス、是其熟スルナリ、其肉ハ六七分許ノ大ニシテ多ク重ル、味甚ダ甜シ、内ニ皆

一核アリ、形木鼈子ニ似テ小ナリ、霜後苗根共ニ枯ル、一種長。レ。イ。シ。ハ、長サ一尺五六寸、九州ニ多

シ、東國ニ栽ユレバ六七寸ニ過ズ、

〔和爾雅〕七 菜蔬、絲瓜ヘチマ、羅瓜布瓜、羅瓜、並同、蠻瓜蠻瓜、並同、

〔書言字考節用集〕六 生植、絲瓜ヘチマ、一名魚魚、支那支那、蠻瓜蠻瓜、並出、

〔物類稱呼〕三 生植、絲瓜ヘチマ 信濃にてとうりと云、薩州にてながうりと云、とうりは糸瓜いとりの上略

なるべし、或人の曰、へちまといふ名は、とうりより出たり、其故はとうりのとの字は、いろはのへ

の字と、ちの字の間なれば、へちの間といふ意にて、へちまとなぶくるとぞ、

〔本朝食鑑〕三 菜、絲瓜訓、遼、知、麻、

集解、二月下種、生苗引蔓、延樹竹或竹棚架、其葉大如蜀葵而多了尖、有細毛刺、其莖有稜、六七月開黃

花、五出、微似胡瓜、花蕊瓣俱黃、其瓜圍六七寸許、長一二尺、甚則三四尺、深綠色、有皺點、瓜頭如鰓首、嫩

時食之者、儘有尤希、老則筋絡纏紐如織成、經霜乃枯、華人造器、本邦惟作垢摩アカスリ、浴湯中用之、而摩去肌

膚之垢、則舊垢凝脂悉脫焉、

〔和漢三才圖會〕百 菜、絲瓜 天絲瓜 天羅蠻瓜 魚鱔布瓜 俗云閉知末